

# 環境資源ギャラリー 建て替え Q&A

現在の環境資源ギャラリーは、建設からもうすぐ 20 年が経ちますが、老朽化等の影響により、2020 年 5 月には大きな故障が起き、それ以降ごみ処理がストップした回数は 127 回（うち、重大トラブル 5 件）にものぼるなど、いつ重大なトラブルが発生してもおかしくない不安定な状態でした。そのため、環境資源ギャラリーの焼却炉を令和 7 年 3 月末に停止し、新しいごみ処理施設を使い始めるまで、ごみを市外へ外部搬出し処理しています。

また、掛川市・菊川市衛生施設組合では、新しいごみ処理施設を 2030 年 4 月に使い始めることを目標に、建設準備を進めています。

Q1

今の施設を修理して使うことはできないの？



**A 修理は難しいと判断しました**

修理には新しい施設を建設するのと同じくらいの工事費（159.5 億円）がかかり、また、10 年しか使えないことがわかりました。

さらに、2020 年 5 月に起きた大きな故障をしっかりと修理するには、建物を壊す必要があるとわかりました。

そのため、2021 年 1 月、修理は難しいと判断し、2022 年 9 月に新しい施設を作る方向性が決まりました。

Q2

新しい施設の建設工事中、ごみは出せなくなるの？



**A 今までと変わらず、ごみを出せます**

2025 年 3 月末に今の施設の焼却炉は停止しました。

新しい施設の使用開始までは、近隣市や民間業者のご協力をいただき、ごみを処理します。

このため、今の施設でのごみ受け入れや地域のごみステーションからのごみ回収も、今までと変わらず行いますので、ご安心ください。

Q3

なぜ、ごみを市外で処理するの？



**A 安全に、安定的に、より経済的に  
ごみ処理するためです**

現在の環境資源ギャラリーは老朽化が進んでいるため、頻繁に故障していました。

このまま使い続けると、ごみ処理が止まるリスクが高いため、安全・安心・経済面の観点から、静岡市などの近隣市や民間業者へ協力をお願いし、2025 年度からごみをすべて市外に運び出すことを、2023 年 11 月に決めました。

Q4

ごみの外部搬出によってどれだけ費用負担が増えるの？



**A 1年間で 約 6.9 億円です**

現在かかっている費用との差し引きの約 6.9 億円が追加の費用負担です。

【現施設の運転管理費と外部搬出費用の比較】

|                 | 1 年間の費用   |
|-----------------|-----------|
| 現状（2024 管理運営費）  | 約 14 億円   |
| 外部搬出費用（2025 予算） | 約 20.9 億円 |
| 差額              | 約 6.9 億円  |

外部搬出の方が、修理して現施設を使うより、11.2 億円安くなります。

【現施設の修理による延長利用と外部搬出費用の比較】

|         | 6 年間の費用    |
|---------|------------|
| 現施設延長利用 | 約 131.9 億円 |
| 外部搬出費用  | 約 120.7 億円 |
| 差額      | 約 11.2 億円  |

**Q5****建設にはいくらかかるの？**

**A 5年間で296億円(上限額)です  
(約半分は国の補助金などを受ける  
予定です)**

近年、物価の上昇が続いており、建設にかかる費用も高くなっています。今回の金額は、複数のメーカーから正式に提示された見積もりに基づき、現在の市場価格を反映したものです。そのため、2021年1月に策定した当初の計画よりも高くなっています。

**Q6****建設の準備は進んでいるの？**

**A 計画的に進めています**

新しい廃棄物処理施設は、今の施設と同じ敷地内に建設します。

建設には広い敷地が必要になるため、今の施設の一部を壊して、敷地を広くする工事を2025年度に行います。

また、新しい施設の建設工事を行う事業者を2025年度に決めます。

2026年度から2029年度までの4年間で建設する予定です。

**Q7****一緒に生ごみを処理する施設を整備したらどうか？**

**A 検討しましたが、今回の整備では見送りました**

生ごみを資源にする施設を作ることについては、2023年6月から8月にかけて、専門家と検討しました。しかし、他の場所でトラブルが起きていることや、コストが高くなること、新しい施設を早く建てるための土地の問題など、いろいろな理由から、今回は採用しないことに決まりました。

生ごみの資源化に向けては引き続き検討を進めていきます。

**Q8****産業廃棄物を処理する施設の  
建設計画はどうなったの？**

**A なくなりました**

2021年1月、掛川市・菊川市衛生施設組合はごみ処理施設の計画を作りました。

この計画では、家庭ごみと産業ごみの両方を処理する案が有力でしたが、市民の不安が高まり、「産業廃棄物受け入れ反対」の声が出ました。

そのため、掛川市と菊川市で検討委員会を作り、計画を見直しました。それによって、家庭ごみだけを処理する新しい施設を作ることに決まりました。

お問い合わせ先：掛川市・菊川市衛生施設組合 0537-23-2273  
掛川市 環境政策課 0537-21-1145  
菊川市 環境推進課 0537-35-0916